

2025 年 6 月 30 日

東急不動産株式会社
東急リゾート＆ステイ株式会社

東急リゾートタウン蓼科の地域連携・環境取組発信拠点

「TENOA 蓼科」エリア 2025 年 7 月 26 日（土）2 期オープン

～自然と調和し地域に開かれた新施設が同時開業～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「東急不動産」）が保有し、東急リゾート＆ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：栗辻 稔泰、以下「東急リゾート＆ステイ」）が運営する東急リゾートタウン蓼科（長野県茅野市、統括支配人：笹本 宏哉、以下「タウン」）の「TENOA 蓼科」エリアが、2025 年 7 月 26 日（土）に 2 期オープンを迎えることをお知らせいたします。

TENOA 蓼科は、「環境」について考えることは“非日常”という人もまだまだ多い中で、タウンへの来訪を通じて「地域環境」「自然環境」への意識を“日常”に持ち帰ってもらうきっかけとなるべく、2つの「環境」の価値の創出および発信の拠点として昨年 7 月 26 日にオープンいたしました。

1 周年を迎えたこの度、TENOA 蓼科周辺の遊び場やショップスペース、ワークスペースのリニューアル、森の魅力を体感できる新施設の開業のほか、蓼科東急ホテルでも地域の“カラマツ”をコンセプトとする新たな客室が誕生するなど、タウン全体で 2 期オープンを盛り上げます。

■森の素材研究室「TENOA TATESHINA Lab.」

研究所・アトリエ・ギャラリーの 3 つの機能を備え、蓼科の森や木に触れて学ぶことができる体験型施設「TENOA TATESHINA Lab.」が誕生します。

ここでは森林資源の循環やサステナブルな取り組みを発信するとともに、蓼科の樹木を活用した精油蒸留、草木染め、植物標本づくりなど、自然の豊かさを五感で学べる体験プログラムを用意しています。

各プログラムで抽出・採取された精油、染料、森林素材などは、蓼科の植生を継続的にリサーチするための資料として記録・アーカイブし、ギャラリーに展示します。こうした体験や展示を通じて、訪れる方が蓼科の森の多様性に触れ、樹木に関する知識・関心を深めることで、身近な自然に目を向けるきっかけを提供します。

また、地域や自然とのつながりを育む創作活動の場として、ワークウェアブランド「MARU TO atelier」がアトリエ機能を担います。



「TENOA TATESHINA Lab.」

WE ARE GREEN

<施設概要>

施設名称：TENOKA TATESHINA Lab.

所在地：長野県茅野市北山字鹿山 4026-2

設計：株式会社リパブリカ

施工：株式会社イメージ

プロジェクトマネジメント：株式会社リパブリカ

コンテンツディレクション：株式会社ヤソ

■地域の魅力が詰まったショップ「EMMA's FOOD & GROCERY」

長野県茅野市を拠点に、地域の林業事業体と提携しながら森林資源の利活用に取り組む「yaso（株式会社ヤソ）」が手がけるグロサリーショップが新たにオープン。信州ポークの自家製ソーセージと高原野菜のホットドッグカフェ「EMMA's HOTDOG」の店舗内物販スペースが拡大し、土地の恵みをふんだんに活かした、食と暮らしを楽しむ複合施設にパワーアップしました。地元の新鮮な農作物やジビエの提供、環境に配慮した日用品などを取り扱い、地域の魅力を発信していきます。



「EMMA's FOOD & GROCERY」

■遊歩道や遊び場もリニューアル

グロサリーショップへ繋がる遊歩道には木製水車が登場。水車の奏でる音に耳を澄ませ、ゆったり癒しの時間が流れます。子供たちに大人気の「魚つかみ」エリアもこの夏の営業を開始いたします。専用エリアに放たれた魚を自らの手で捕まえる体験は思い出づくりに最適です。

また、TENOKA 蓼科に隣接するワーキングスペース「ワークラボ MORIGURASHI」も装い新たにオープン。「森で働く」ことに焦点を当て、自然豊かな環境で集中して働ける環境を引き続き提供いたします。



©furuyadesign

水車のある遊歩道

<施設概要>

施設名称：EMMA's FOOD&GROCERY、ワークラボ MORIGURASHI
所在地：長野県茅野市北山字鹿山 4026-937-2
設計：古谷デザイン建築設計事務所（建築）・株式会社ツェルト（内装）・スパンコール（照明）
施工：株式会社石勝エクステリア（外構）・株式会社イメージ（内装）
株式会社モノクローム（太陽光発電システム）
ランドスケープ：古谷デザイン建築設計事務所
プロジェクトマネジメント：株式会社リパブリカ
コンテンツディレクション：株式会社ヤソ

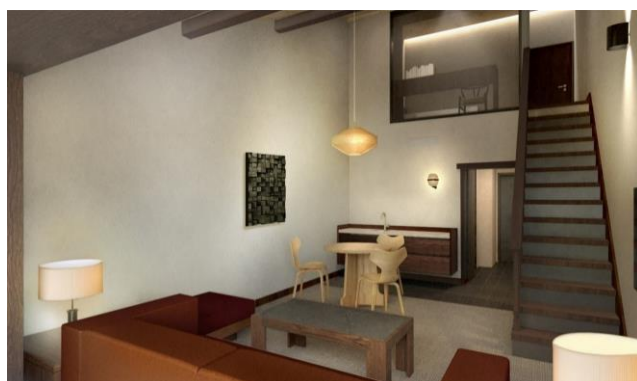
■蓼科東急ホテルの新たな客室「Karamatsu Classic」

蓼科東急ホテルでは一部客室をリニューアルし、地域産のカラマツを随所に取り入れたコンセプトルーム「Karamatsu Classic」が誕生します（ツインタイプ・メゾネットタイプ各1室）。

客室はカラマツの木々が美しく映えるガーデンビューで、客室内の建材やアート、各種アメニティ、スチームサウナのアロマにもすべてカラマツを使用しており、五感すべてで蓼科の自然やカラマツの質感を感じられる、ウェルネスな滞在をご提案します。



スタンダードツイン



メゾネット



初導入となるスチームサウナ

<施設概要>

施設名称：蓼科東急ホテル コンセプトルーム「Karamatsu Classic」
所在地：長野県茅野市北山字鹿山 4026-2
設計：株式会社ツェルト
施工：株式会社東急 Re・デザイン
公式サイト：[【公式】蓼科東急ホテル - TATESHINA TOKYU HOTEL](https://www.tateshina-tokyu-hotel.com/)

■「森の力実験都市 Festival」を開催

タウンでは、2025年7月26日（土）・27日（日）の2日間、2期オープンを記念したイベント「森の力実験都市 Festival」を開催いたします。本イベントでは、森の恵みを科学的に探究し、リラックス、免疫力向上、集中力アップなど森の効果を五感を通して体験することができます。地域の飲食店を集めたマルシェの他、“旅する料理人”三上奈緒氏によるダイニングパフォーマンス、ナイトシアター、各種ワークショップなど、地域の方もタウン初来訪の方も楽しめるコンテンツをご用意いたします。



■東急不動産の地域共生施設「TENOKA(テナカ)」とは

TENOKA(テナカ)は、「手のひら」と「葉」の造語です。施設を大きな木、新しいライフスタイルを沢山の葉として、ものを作り出す手と手が、重なり合う葉のように広がり、新しい時代やものに向けて人やモノ・サービスが育っていく場所であることを表しています。地域の皆様と手と手をたずさえて、沢山の葉を増やし、更に大きな木へと成長して場を目指しています。

当社は、全国にこれまで6か所の「TENOKA」を展開しています。北海道松前町や埼玉県東松山市など再生可能エネルギー事業地を舞台にした施設、東京都渋谷区代官山でサステナブルな生活体験を提供する複合施設「TENOKA 代官山」など、都市と地方で、地域の課題解決や活性化につなげていくことを目的とした、事業を通じた地域共生取り組みを行っています。今後は各拠点での地域共生の活動とともに、相互連携・共同イベントなどで地域のつながりも創出していきます。



【全国の「TENOKHA（テノハ）」】

まちに根差し、まちづくりの拠点へ



再エネ×農業×地域共生



地域連携・環境取組発信拠点

サステナブルな生活体験を提供



■環境経営と「東急リゾートタウン夢科」での取り組み

当社は、東急不動産ホールディングスグループで掲げる全社方針「環境経営」を事業の中で推進しています。3つの環境重点課題「脱炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」を包括的に捉え、環境課題解決を通じて、持続的な社会と自社の成長を目指しています。

TENOKHA 夢科を含む当タウンでは、豊かな自然を活かしたリゾート開発・運営を行っています。

■私たちが提供する「体感型サステナブルリゾート」

東急不動産・東急リゾート&ステイ・東急リゾートの3社は「体感型サステナブルリゾート」として、3つのテーマ「体験」・「地域」・「環境」に基づいた、楽しみながら地球や地域に優しく過ごせるサステナブルな空間や体験・活動を、施設を訪れるお客様やステークホルダーの皆様へ提供していきます。

「体感型サステナブルリゾート」のコンセプトや、当社リゾート施設で提供している環境体験を紹介するWEBサイトはこちらから

ENJOY! GREEN GUIDE

URL | <https://www.tokyu-green-resort.com/>



WE ARE GREEN